

マイナンバー カード

運用を停止し、保険証を残せ!

日本共産党の論戦が流れをつくった

伊藤岳は、個人の情報をマイナンバーに紐づけるためには人間が介在せざるを得ず、マイナンバーカードの利用拡大には、構造的な欠陥があることを具体的に示しました。

不備があるにもかかわらず、カード普及ありきで突き進んできた岸田政権の姿勢は厳しく問われなければなりません。

だれでも安心して保険医療を受けることができるいまの保険証を2024年秋までに廃止して、マイナ保険証を強制するやり方は許せません。



(写真左) 保険医団体連合会の国会内集会で開業医の皆さんと一緒に「保険証廃止ありえない」の声をあげました。(写真右) 保険証廃止の中止を求める集会で「マイナ保険証は停止し、現行の保険証残せ」と挨拶。

地方創生デジタル特別委員会

保険証廃止では 無保険者が生まれると追及

「被保険者に健康保険証を届け、誰でも保険医療を受けることができるようにすることは国や保険者の義務だ」と指摘し、「保険証を申請方式の仕組みに変えれば申請漏れなどで『無資格』『無保険』となる国民が大量に続出することは避けられない」と追及。法案の撤回を迫りました。



総務委員会

障がい者が 排除される制度設計

障がい者に対しては、カード申請時に「背後に車いすのヘッドレストが写っていたので却下された」「病気のため黒目がない人でも、黒目が写ってないので撮り直しとなった」などの対応がされている事実を示し、政府は当初から障害のある方などを「申請から排除している」と追及。各党議員の意識を大きく変えました。



伊藤 岳

日本共産党・参議院議員

国会報告

2023年 夏号

ito_gaku.jp

検索



発行: 日本共産党国会議員団埼玉事務所

参議院事務所 〒100-8962 千代田区永田町 2-1-1 参議院議員会館 609 tel.03-6550-0609 fax.03-6551-0609
埼玉県事務所 〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町 1-171-1 tel.048-658-5551 fax.048-647-5755 E-mail jcp.saitama-kokkai@ymail.plala.or.jp

いつでも誰でも安心して 受けられる保険医療を守ろう



埼玉県保険医協会
理事長

山崎利彦さん

健康保険証とマイナンバーカードを一体化させ、来年の秋には健康保険証を廃止する法案が3月に出てきました。伊藤岳議員には国会で無保険状態となる国民が必ず生じてしまうことを政府に認めさせるとともに、法撤回と健康保険証の存続を医療者とともに要請していただきました。

Aさん (保険証の別人紐付け誤登録で被害にあわれた方)

情報漏洩を体験した私のことを国会で質問してくれたのが伊藤さん。マイナ保険証の紐付け誤りで問い合わせる先もない現状こそ杜撰な管理であり、このままでは必ず涙を流す人が出ると確信し、行動しています。皆保険制度を利用した悪質な国民への裏切りだと感じています。政府は民の声を聞けと言いたい。



国保組合を運営する
埼玉土建組合
書記次長

菊田洋一さん

建設職人の命綱の土建国保を運営しています。年に一度、仲間と直接顔を合わせて健康診断を知らせ、土建国保と組合の業務を知らせ、悩みや困りごとを聞いています。保険証が廃止されたらこの大切な「保険証渡し会」もできなくなります。伊藤議員に、土建国保の厳しい現状を国会で取り上げていただき、感謝しています。

国民の声を聞かず 悪法を次々にゴリ押し 岸田政権の姿あらわに！



無保険者を生み、国民皆保険制度を壊すマイナンバー法の改悪。別人紐付けなど様々な問題が出てきても、反対の声がどれだけあがっても、数の力で押し通してしまいました。入管法も、入管の闇を覆い隠して改悪を強行しました。

岸田政権肝いりの「異次元の少子化対策」は、学費無償化など重い教育費負担の軽減には一切触れず、児童手当拡充も入り口から財源を示せません。一方で、5年間で43兆円の大軍拡で、軍事費を世界第3位にするという。やることがあべこべです。少子化対策と軍拡路線は両立しません。

「専守防衛」を投げ捨てる敵基地攻撃能力の保有は、日本に戦火を呼び込むこともハッキリしました。

自民、公明の与党に、維新、国民民主が加担して進めるこの政治。変えましょう、総選挙で。

同性婚の実現へ！

日本共産党は婚姻平等法案を参院に提出

3月29日、日本共産党は同性婚の法制化を柱とした婚姻の平等を実現する法案を参院に提出しました。



婚姻平等法案を参院事務総長(左)に提出。

世論調査で同性婚を求める声が6～7割に達し、自治体のパートナーシップ制度も320自治体に広がっています。当事者のみなさんの声を聞き、現実と法律とのギャップを実感してきました。十人十色。多様性を尊重しカラフルに輝く社会へ力をあわせましょう。



LGBTQなど性的少数者が自分らしく前向きに生きられる社会の実現を目指すイベント「東京レインボープライド2023」に参加し、多様な性を象徴する虹色のグッズを持ちパレード。

(1月23日～6月21日)

第211通常国会・伊藤岳の質疑

論戦をリード



DV等で避難している被害者の住所がマイナンバーカードを通じて加害者に知れてしまう仕組みになっており命に関わる問題だと指摘。



埼玉保険医協会が実施したマイナ保険証に関するアンケートでは、開業医の1割が廃業を考えているという実態を紹介。保険証一体化には道理がないと追及。



マイナ保険証に個人情報紐付けられた誤登録は、なぜおきたのかを追及。全容解明の見通しも立てられないと指摘。

- 3/8 (予算委) 放送法の政治的公平の解釈変更を示した行政文書ファイル問題
- 3/9 (総務委) 行政文書ファイル問題、マイナポータルからDV被害者の“身バレ”問題
- 3/10 (本会議) 放送法の統一見解の撤回、後期高齢者の医療費負担二割撤回、市町村国保への支援を主張、マイナンバーカードの交付率で地方交付税を傾斜配分するやり方を追及
- 3/16 (地デ特) マイナポータルからのDV被害者の身バレ問題、高齢者施設でのマイナンバーカード管理問題
- 3/17 (総務委) 行政文書ファイル問題
- 3/23 (総務委) 保育士の処遇改善と会計年度任用職員の格差是正
- 3/23 (予算委) 戦争の反省を踏まえて作られた放送法における政治的公平の意義
- 3/28 (総務委) 地方税法・交付税法改正案の反対討論
- 3/29 (地デ特) デジタル田園都市国家構想交付金、マイナンバーカード申請率を算定基準にする問題
- 3/30 (総務委) 政権からの介入許さない放送法の理念についてNHK会長に見解をたず、受信料値下げの行政介入と公共放送の役割、職員過労死問題
- 4/14 (地デ特) 地方分権改革一括法案、高齢者施設でのマイナンバーカード管理問題、コンビニ誤交付
- 4/20 (総務委) 会計年度任用職員の勤勉手当、事務処理マニュアル見直し
- 4/25 (総務委) 地方自治法改正案(議員の職務規定の新設は懲罰拡大に悪用されかねないと指摘)
- 4/28 (本会議) マイナンバー法案の利用範囲拡大、保険証廃止、公金受取口座、戸籍記載振り仮名問題
- 5/12 (地デ特) コンビニでの誤交付問題、マイナンバーカードと健康保険証一体化問題、無資格保険者を生み、国民皆保険制度の根幹ゆがめると追及
- 5/19 (地デ特) マイナ保険証の別人紐付け登録問題
- 5/23 (総務委) マイナンバーカード申請時に障がい者が困難を抱えていると追及、LGBTへの対応
- 5/25 (総務委) 放送法及び電波法改正案(マスメディア集中排原則の緩和問題・ローカル局の意義など)
- 5/31 (地デ特) マイナンバー関連法案の反対討論
- 6/5 (地デ特) マイナ保険証の構造的欠陥問題、無保険者が生まれる問題を追及
- 6/5 (本会議) デジタル改革推進一括法案(デジタル技術を活用する主役は国民であり、マイナンバーカードのトラブルを教訓とすべきと主張)
- 6/9 (地デ特) 2024年秋に現行保険証の廃止は誰が決定したのか追及、マイナ保険証の運用停止
- 6/13 (総務委) 個人情報が漏えいする危険性をそのままに新カード移行に突き進むべきではないと追及、NHKのBSネット配信設備をめぐる不適切調達問題

総選挙へダッシュ！ 暮らし・平和を守る 比例北関東 2議席を



衆議院議員(国会対策委員長代理)

塩川 鉄也



元衆議院議員(党子ども権利委員会責任者)

梅村 さえこ

日本共産党は、予想される衆議院選挙の比例北関東ブロック(茨城・群馬・埼玉・栃木)の予定候補に、塩川鉄也氏(現)、梅村さえこ氏(元)を発表しました。塩川氏は、前回総選挙からの質問・討論・提案回数が225回と全国国会議員中トップクラスの活躍です。梅村氏は、6月初旬の豪雨災害で被災した越谷市などの被災者から直接要望を聞き、実現に奔走する行動の人です。こんどこそ「北関東比例2議席」で岸田政権の暴走政治にノーの審判をくだしましょう。